



インスピレーションになる

《第2530地区活動目標》

1. 会員層の維持と強化
2. POLの推進への取り組みと支援
3. TAKE ACTION - みんなで行動を起こしましょう
4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
5. 公共イメージの向上
6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
7. 研修制度の充実
8. ロータリー財団への理解と活用
9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井義郎
 ガバナー補佐 渡邊武
 会長 吾妻一夫
 幹事 村上裕司

地域社会の発展に
十周年を機に

2018~2019年度 ◆ 例会日/木曜日12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 **匠のこころ** 吉川屋
 RI会長 **バリー・ランシ**
 イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)
 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) 電話(024)542-2226 Fax(024)542-3604

10月は特別月間:米山月間

10月7日を含む一週間:ロータリー学友参加推進

通算

第16回 [2937] 例会報告

平成30年(2018)10月25日(木)

出席委員会報告

| | |
|------|--------|
| 会員総数 | 37名 |
| 出席会員 | 25名 |
| 欠席会員 | 12名 |
| 出席率 | 67.57% |

- ◆ 開会点鐘 吾妻一夫 会長
- ◆ ロータリーソング [手に手つないで] 紺野容樹 会員
- ◆ 四つのテストの唱和 諸根敏之 職業奉仕副委員長

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

🎂 今週の誕生日

🎵🎵🎵 10月28日 白川 敏明 会員 🎵🎵🎵

lunch time

◆ 会長あいさつ



今日は“秋の香り”のお話しをしたいと思います。それぞれの場所や季節には香りがあります。落ち葉が腐りかけた匂いに清々しいヒヤッとした匂いが秋の香りです。落ち葉を集めて火をつけている時は、そこにプラスして何とも言えない匂いになり、秋の風情となります。そういう匂いがどこにでもあると思います。皆さんが海外旅行で空港に行きますと独特の匂いを感じると思います。匂いというのは好き嫌いではありません。好き嫌いはい慢が出来ますが、特に食品について、その香りや匂いは我慢が出来ません。これから皆さんとバリ島に行きますが、必ずパクチー料理が出ます。皆さんは食べ慣れていない物ですが、それを食べる事によって現地の人たちはお腹を壊さないのです。そのために香草を使っています。今、若い女性の間ではパクチーが大流行していますが、私は食べられません。そのパクチーの匂いを肝に銘じていただきたいと思います。私は、やはり清々しい匂いというのは秋だと思います。落ち葉の匂いや焚き火の匂いが日本を代表する匂いだと思います。果物でもブドウは香りが発散されます。しかし、ブドウの香りが強い物はどこか傷んでいるから匂うのです。何もなければ匂いしません。桃もそうです。皮をむいて初めて匂いがします。そんな事を考えると匂いというのは人間が生きるためにすごく生かされているものだと私は思います。理事会報告ですが、今まで皆さんと共に活動して参りました堀切知之さんが10月31日をもって退会されますのでご報告いたします。

◆ 幹事報告 村上裕司 幹事

A. モーキャップ報告

10/21 2018-2019年度米山記念奨学生による体験発表会 吾妻一夫、村上裕司、佐藤喜市郎、安齋忠作 各会員

◆ 米山記念奨学生による体験発表会の報告 安齋忠作 委員長

米山記念奨学会学友会の体験発表が郡山で行われました。県内にいる米山生の体験のお話しで、学生たちの考えを聞かせていただきました。総勢19名にお話ししていただき、中国、ベトナム、ネパール、インドネシア、スリランカのお国の方々でした。うちのダット君も発表してくれて、先日のお神輿のお話しを織り交ぜながら話してくれました。その後、各国の料理を振舞っていただきましたが、やはり、お国それぞれ独特のお料理でした。以上、ご報告いたします。



◆ 親睦活動委員会からお知らせ 渡辺達也 委員長

来週の家族同伴ボウリング大会ですが、参加人数が今現在17名です。多数の商品をご用意しておりますので楽しみにしていただきたいと思います。皆さん、宜しくお願いいたします。

◆ スマイルングBOX 中島定宏 副委員長 【合計 3-24】 《年・月計比較 +3-54》

吾妻 一夫会員 H 安齋さん、スピーチ宜しくお願ひします。
 安齋 忠作会員 H スピーチをさせていただきます。
 鈴木 重忠会員 H 水草、前回欠席おわび 安齋さん、スピーチ楽しみにしています。
 石川 邦俊会員 S 安齋会員スピーチ宜しく！楽しみにしています。
 西川 友幸会員 S 安齋さんスピーチ楽しみです。
 千葉 政行会員 T 安齋さんスピーチ楽しみにしております。
 島 隆章会員 I 遅刻おわびとして



◆ 会員スピーチ 安齋忠作 会員

来月16日で私も70歳になります。昭和42年、高校卒業と同時に百姓をやっておりますので、今日は百姓についてお話ししようと思っております。我が家は地域で一番最後に果物を始めた農家です。それまでは、養蚕を中心に野菜もやっており、息子が百姓をやるのではと親父がリンゴと桃を何本か植えてくれて始まりました。うちは2町歩ほどの面積があったのですが、田んぼ1町歩、りんご4反歩、桃が4反歩、さくらんぼが10アール、柿



等々で10アールあり、これは地域としてはまあまあの規模でした。今はりんごも品種が違うのですが、メインが「スターキング」(今は富士がメイン)「ゴールド」 「陸奥」 「インドりんご」で、桃は「大久保」が主力でした。お盆前にいかに出荷するかがひとつの技でした。昭和36年から農業基本法が出来ましたが、その前は共選場無く、自分たちの家で箱詰めして出荷していました。私たちが始まった頃から共選場が出来まして、また、構造改革事業として湯野や茂庭の山が開発され桃を植えました。当時、「大久保」から「白鳳」へ変わり、倍以上の手取りがあり、昭和40年代には共選体制となり農業が良くなりました。但し、現状は次の世代に繋がっているかということ、今は1~2割で遊休農地も増え、大変な状況だなどというのが現況です。田んぼも我々の頃はまだ機械も無くて、手植え手狩りの時代でした。昭和45年頃にやっとクボタの田植え機が出来まして、旧飯坂農協で指導員から田植え機の募集があり、我が家と稲生指導員だけがやろうということで、試験的に植えて、次の年から地域でもこれはいいねということで始まりました。飯坂は田植え機の取り組みが早かったので、県から呼ばれて郡山でお話して下さいと言われて、私が田植え機の話をしたことがありました。

それから、私は稲の方から足を洗いまして果物専門となりました。昭和45年に減反政策が始まりまして、それから田んぼにさくらんぼや桃を植え始めました。当時のサクランボは野にあるもので、明治時代から飯坂にはサクランボがありました。雨や鳥害はそのままでした。品種は「ナポレオン」が主流で私が始めた頃は「佐藤錦」がメインとなりました。雨や鳥の被害があり、これではだめだということで、当時、山形に見に行った記憶があります。その頃はあまり山形でも施設化は進んでおらず、とりあえず、ポールを建ててネットをかけて鳥避けをしました。その後、50年代後半には今のパイプ式になり、常時雨避けが出来ようになり、さくらんぼも安定作物になりました。昭和45年から減反政策に入り、飯坂の方は果物への転換が早く、桃は「大久保」より「白鳳」の方が収益が高いということで、我が家は昭和49年に20アールほど植えました。昭和45年に「レー13」が今の「あかつき」に登録され2反歩植えました。ご存知の通り、「あかつき」は国で生まれた物ですが、昭和30年代に各試験場で作ってもなかなか商品化出来ず、たまたま、福島の実験場で良い玉になると商品化されたのが「あかつき」です。名前も信夫三山眺参りから「あかつき」と命名になりました。

私も昭和51年に結婚して子供も生まれ、それまでは百姓一本でございましたが、娘が小学校1年生になる時に喜市郎さんと宗像さんが来られて、PTAを手伝ってくれと言われ、農業以外の事に足を入れたのはそれがきっかけで、皆さんとお付き合いが始まりました。その後、平成4年に観光協会で21世紀委員会が出来まして、観光業だけではなく地域みんなで考えようということで、我々農家も飯坂6地区から出るということで、飯坂から私が出ました。21世紀委員会で飯坂のイメージについてアンケートを取った結果、いで湯と果物の里だろうという結論が出来まして、いで湯は観光サイドにお任せして、私たちは何が出来るか考え出したのが「りんごと桃のオーナー制度」です。平成7年には観光協会さんと共に、民報、民友さんにも記事にいただき、テレビでも放映されコマーシャルが出来ました。東京の銀行さんにも来ていただき、派手ではありませんがぼちぼち繋いできました。5~6年やって、梨とブドウも入れて、果物の木のオーナー制が出来ました。年々お客さんが増えてきて、何とか200本に到達したと思っていたら、平成23年の大震災で100人まで半減してしまいました。去年あたりで全快になり200本になりました。また、平成13年の県の農業会議に出た時に、畠さんの従妹の畠直七さんに「私の先生が飯坂で花ももの品種を保存してもらえれば原種を出すよ」と言われて、観光協会の方で相談し市の方に働きかけて植えました。現在、40種類の花もものが植えられ、観光名所の一つになったと思います。その後、隣地が西山会員の土地だったので、お話しをして使わせていただきました。本当にありがとうございました。我々、農業サイドも何とか観光と共に一緒に歩いてくることが出来たのかなと思います。オーナー制が始まったのと同時に21世紀委員会の方々と、お花見やさくらんぼ畑でイベントをやろうと始まったのが、オーナーの方々に6月に来ていただいている「さくらんぼ感謝祭」です。皆さんにお手伝いしていただいて100名のお客様に接待することが出来て本当に有り難かったです。たまたま、「佐藤錦」のお話しをしていて、飯坂は佐藤さんが多いので福島で出来たと思われておりますが調べてみますと、東根市の佐藤栄助さんが大正元年(1912年)に「黄玉」と「ナポレオン」を交配して10年後に良い物を絞り込み作ったそうで、佐藤錦は山形で出来ております。また、飯坂だっべした一が歌っている福島小唄の中に「帰り土産にさくらんぼ、お湯は飯坂、梨は萱場」とありますが、梨については「萱場の梨」ということで、ここの梨は一風味違うと思います。ご存知の通り、嶋原さんという方が栃木の苗木屋から赤梨の苗木を50本植えたのが萱場梨の始まりだそうです。あそこは火山灰の土で非常に水はけが良く、気候が合ったのか瑞々しい梨が出来るといいます。福島市内でも適地があると思います。もう少しすると蜂屋柿の収穫になります。梁川はみんなあんぼ柿にするのですが、ここは焼酎で渋抜きをして出します。北高周辺の柿は神田市場でも重宝されており、果物は非常に微妙な地域性があると思います。

5年前に経営は息子に任せて、ちょっと余裕が出てきて楽しみながら百姓をやっていますが、去年から酒造りをやったり、今年からマリッジサポーターをやれと言われて、楽しんで合コンを企画したりしておりますので、今後とも宜しくお願いしたいと思います。

◆閉会点鐘 会長

■会報・広報・雑誌委員会、歴史本編纂委員会開催 10月10日(水) 18:30~「紫樹」

《内 容》①会報・広報・雑誌委員会の在り方について ②会報作成についての問題について ③歴史本配布現況報告について
④歴史本残冊少数のため今後の配布について ⑤その他

《出席者》吾妻一夫、村上裕司、佐藤真也、菅野浩司、篠木勝司、佐藤喜市郎、松崎義将、川又康彦、鈴木義明、紺野容樹、松浦史幸、生田目正志、大内勝行、斎藤孝裕 以上の会員

■臨時理事会開催 10月25日(木) 11:45~「吉川屋」

《内 容》①退会会員の承認について ②その他

《出席者》吾妻一夫、村上裕司、安齋忠作、千葉政行、石川邦俊、菅野浩司、生田目正志、佐藤真也、鈴木重忠、渡辺達也 以上の会員